

やすらぎ通信

第54号（平成27年5月1日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

皐月(さつき)



(住吉大社 御田のこいのぼり)

<目次>

喫茶室	・・・P.1
今月・来月の催し	・・・P.1
管理栄養士のコーナー	・・・P.5
今月のひまわりさん	・・・P.6

NEWS	・・・P.6
地域の医療機関の皆様へ	・・・P.9
今月の風景	・・・P.10
編集後記	・・・P.10



喫茶室

五月と言えば、こどもの日、鯉のぼり。「やねよりたかいこいのぼり」の歌詞にもあるように長い竹竿の先に矢車を付け、上から吹き流し、真鯉、緋鯉、子鯉と並んで風にそよいでいる鯉のぼり。

見なくなって随分経ちますが、私の実家のすぐそばの農家の庭先に立派な鯉のぼりがありました。そのお宅には私より少し年下の男の子がいて、よく一緒に遊んだものですが、おそらくその鯉のぼりはその子のお父さん、お爺さん、ひいお爺さんの代からのものだったのだらうと思います。私の実家は一軒家ではありましたが、鯉のぼりはなく、友だちにも鯉のぼりがある家はそんなにはなかったように記憶しています。

時代は巡って一児の父となった二十数年前、長男の初めてのこどもの日。宅舎住まいだったので、本格的な鯉のぼりなど到底上げられませんが、我が子が健やかに育てほしいとの願いを込め、当時流行りのベランダに掲げる鯉のぼりを買いました。我が家だけでなく、小さな男の子のいる宅舎仲間のベランダには皆鯉のぼりがあったような気がします。

二度目のこどもの日。息子を抱っこしてベランダに出て「鯉のぼりやで。こ・い・の・ぼ・り」と教えると未だ片言しかしゃべれない息子は「こいぼり、こいぼり」と喜んでくれたのを思い出します。

このベランダ用鯉のぼり。最近はマンションなどでもあまり見かけなくなったような気がします。少子化だからでしょうか。でも子どもの数が多かろうが少なかろうが、鯉のぼりを上げようが上げまいが、子どもの成長を願う親の気持ちは昔も今も変わらないと思います。

今月・来月の催し

【相愛大学連携 第48回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時	5月12日(火) 午後2時～3時
場 所	本館1階 アトリウム
内 容	糖尿病とお口の関係(糖尿病代謝内科副部長 畑崎聖弘) 糖尿病の薬について～薬を飲むタイミング～ (薬局 薬剤師 長光智也) 食物繊維の効用(相愛大学 准教授 角谷 勲 氏)
参加費	無料

【(新) ミニコンサート】

日 時 5月13日(水) 午後1時30分～2時30分
場 所 本館1階 アトリウム
出 演 日本センチュリー交響楽団
参加費 無料

【(新)『看護の日』 毎日健康ライフ!～笑顔を忘れちゃダメよーダメダメ!～】

日 時 5月14日(木)
内 容 第1部:午前10時～11時30分
本館1階アトリウム:骨密度測定
本館1階トイレ前:手洗いチェック
本館2階:アロマハンドマッサージ
第2部:午後2時～3時30分
本館3階講堂:アロマハンドマッサージ
漫談マジック、クイズ、パープルシンガーズ合唱
参加費 無料

【第5回リウマチ教室】

日 時 5月19日(火) 午後2時～3時30分
場 所 本館3階 講堂
内 容 関節リウマチの診断・検査・治療
(免疫リウマチ科主任部長
関節リウマチ・バイオサポートセンター長 藤原弘士)
高額療養費制度と介護保険について
(MSW 岡崎祐理子)
参加費 無料

【すこやかセミナー「こどもが熱を出したとき」】

日 時 5月22日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 小児科副部長 西浦博史
参加費 無料



【第39回相愛大学連携コンサート「クラリネットアンサンブル」】

日 時 5月26日(火) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂

出 演 Milfy Clarinet Ensemble (ミルフィークラリネットアンサンブル)
入場料 無料

【(新) 第16回病院ギャラリー企画展 『花博写真美術館コレクション展』】

1990年4月から半年間、大阪の鶴見緑地公園で『国際花と緑の博覧会』が開催されました。多数の記念館やパビリオンが立ち並び、その中でも一際注目を浴び、好評だったのが『花博写真美術館』でした。

国内外から600点以上の写真が収集され、美しい花々や力漲る風景、未来の子供たちへ残したい自然など、写真を通して感じ取れる様々なメッセージを全世界に発信されました。

閉会後には、展示写真の一部が大阪府に寄贈されました。

今回の展示は『花博写真美術館コレクション展』と題し、寄贈された写真の中で、日本の写真家による29作品を展示します。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 2015年5月18日(月)～2015年8月21日(金)まで

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 写真 29作品

- ※ 2015年5月26日(火) 13時30分から大阪府府民文化部都市魅力創造局文化・スポーツ課・主任研究員の中塚宏行氏による作品説明会(約20分)を病院ギャラリーで開催いたしますのでご参加ください。
- ※ なお、第15回病院ギャラリー企画展 田中 幸太郎『花火の光跡による抽象写真展』は2015年5月15日(金)までとなります。

【(予告) 相愛大学連携 第49回外来糖尿病教室

知って得する! 糖尿病との付き合い方】

日 時 6月9日(火) 午後2時～3時

場 所 本館1階 アトリウム

内 容 糖尿病は甘くない～HbA1cは7%未満が望まれます～

(糖尿病代謝内科医長 藤木典隆)

膵臓の働きと検査のお話し(臨床検査科 検査技師 西田 収)

外食について(栄養管理室 管理栄養士 笠井香織)

参加費 無料

【(予告) すこやかセミナー「糖尿病お薬の話～最新の新しいお薬を含めて～」】

日 時 6月11日(木) 午後2時～3時

場 所 本館3階 講堂

講 師 糖尿病代謝内科副部長 畑崎聖弘

参加費 無料

【(予告) 府民公開講座「高齢者の排尿障害の診断と治療」】

日 時 6月13日(土) 午後1時30分～3時(午後1時開場)

場 所 本館3階 講堂

講 師 泌尿器科主任部長 高尾徹也

参加費 無料

【(予告) 第40回相愛大学連携コンサート「チェロアンサンブル」】

日 時 6月25日(木) 午後2時～3時

場 所 本館3階 講堂

出 演 SOAI Cello Family

入場料 無料

【(予告) すこやかセミナー「聞こえの仕組みと難聴、難聴の治療」】

日 時 6月26日(金) 午前11時～12時

場 所 本館3階 講堂

講 師 耳鼻咽喉・頭頸部外科主任部長 宇野敦彦

参加費 無料



管理栄養士のコーナー



~ちょっとおいしい話~

さわやかな季節となりました。今回はサッと作れる簡単キーマカレー (Keema Curry) を紹介します。「キーマ」はヒンディー語やウルドゥー語で「細切れ肉」または「ひき肉」を意味します。脂肪の少ないひき肉と野菜をたっぷり使用し、スパイシーでヘルシーにアレンジしてみました。

《材料》	(1人分)	(2人分)	
鶏ももひき肉(皮なし)	30 g	60 g	
豚ももひき肉(皮なし)	30 g	60 g	
たまねぎ	50 g	100 g	
人参	20 g	40 g	
ニンニク	適量	適量	
生姜	3 g	6 g	
カレー粉	小さじ1 杯弱	小さじ2 杯弱	
オリーブ油	3 g	6 g	
コンソメ	2 g	4 g	
ソース	5 g	10 g	
トマトケチャップ	10 g	20 g	
カレールウ	10 g	20 g	
ローリエ	少量	少量	
★ {	赤パプリカ	10 g	20 g
	かぼちゃ	10 g	20 g
	なす	10 g	20 g
	オリーブ油	2 g	4 g
ブロッコリー	20 g	40 g	
ごはん	150 g	300 g	

(1人分) エネルギー：500kcal たんぱく質：19.0g 脂質 12.0g 食塩相当量：2.5g

- ①人参、たまねぎ、ニンニク、生姜はみじん切りにする。
- ②鍋にオリーブ油をひき、ニンニクと生姜を入れて中火で炒め、ひき肉を加える。次に人参とたまねぎを入れ、火が通るまで炒める。
- ③カレー粉を加えて更に数分炒め、水・コンソメ・ローリエを入れて一煮立ちさせる。
(アクを取る)
- ④ソース、トマトケチャップ、カレールウを入れて中火で煮る。
- ⑤★のトッピング野菜は適当な大きさに切りフライパンで炒める。ブロッコリーは食べやすい大きさに切り、茹でる。
- ⑥皿にごはんを入れ④⑤を盛り付ける。

※野菜の種類や量はお好みで調整してください。

栄養管理室 管理栄養士 山根泰子

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている
医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 病棟クランク 皆川さんの巻】

私はICUにクランクとして勤務して半年ほどになります。

初めてICUと聞いたとき、重症の患者様がたくさん入院されていて、常に緊迫感があり気の抜けないところというイメージを持っていました。

現在、ICUのイメージは当初感じていたものとは全く違い、安心して看護を任せられる病棟ということが出来ます。

ICUは、主に手術を終えられた患者様が入室してこられる病棟です。そこでの先生や看護師さんたちの迅速な判断や行動、そして患者様・ご家族様の不安を取り除くための心のケアや細かな気配りなどを目の当たりにした時に、身の引き締まる思いを感じると同時に、安心と信頼を感じることができています。

私自身、患者様やそのご家族様に直接接することはないものの、手術後にICUに入室された患者様の容体が安定し一般病棟に移られる際はとても嬉しく思います。これからも、少しでも看護師さんたちのお役に立てるよう、頑張っけて続けていきたいと思っています。

NEWS

【「医療相談」コールセンターのご利用を ー地域医療連携センターー】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができ

るよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。
なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください
ますようお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201 (代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に
行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に
予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行
っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談
コーナーなどでお知らせするサービスも行っています。

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版中です！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する
書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡
潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なとき
から病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に
役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選
択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。



価 格：1,998円（消費税8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
- ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ
（割引券付き）をレジで提示いただいた方

割引価格：1,700円（消費税8%込）

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【診察予約時間の表示変更について】

平成 26 年 12 月以降の予約より、診察予約時間の表示を変更いたしました。これまで、患者の皆様には 30 分単位の予約時間帯を案内していましたが、平成 26 年 12 月以降の予約は、予約時刻を案内しております。予約時刻に合わせてご来院くださいますようお願いいたします。

※ 診察は通常予約時刻順に行います。

当日の診療状況によりお待ちいただくことがあります。

再来受付機による受付番号は、診察順には関係ありませんのでご注意ください。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

地域の医療機関の皆様へ

【(新) 泌尿器科からのお知らせ～前立腺がん・膀胱がん術後地域連携パスについて～】

当センターでは、前立腺がんに対する手術療法として2012年6月に「daVinci S」を導入してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を開始しました。2014年4月からは解像度の高い新機種である「daVinci Si」を導入しております。この間、多くの患者様をご紹介いただき年間手術件数は2013年82例、2014年83例と急増しています。膀胱がんに対しては年間200件以上の経尿道的手術を行っております。表在性膀胱がんの場合、膀胱腔内再発が多く認められるため、術後も定期的な(3カ月ごと)膀胱鏡検査が必要になります。前立腺がん、膀胱がんともに手術件数が増加しており、術後患者さんをすべて当科でフォローアップするのは困難な状態です。



がん診療における地域連携パスは、がん医療の質の保証と安全・安心の確保を図りつつ、地域医療機関の機能分担、役割分担を図ることを目的とした診療連携のためのツールとして用いられるべきとされています。

がん診療連携拠点病院の整備に関する指針(平成20年3月)により、がん診療連携拠点病院が我が国に多いがん(5大がん:胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝がん)等に関する地域連携パスを早急に整備することが目標にあげられました。その後、前立腺がん、膀胱がんの地域連携パスも、大阪府下のがん拠点病院で構成されている「大阪府がん診療連携協議会がん地域連携パス部会」で作成されました。

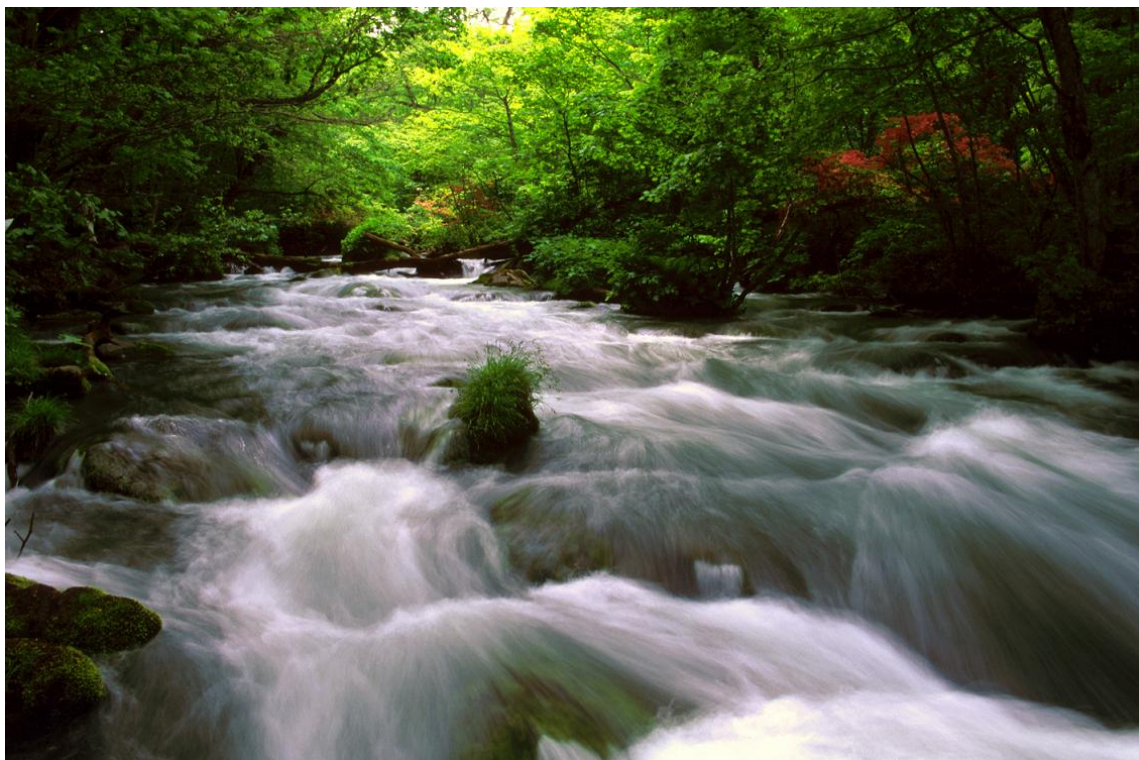
当センターでも「膀胱がん/TURBT術後経過観察」と「前立腺がん術後」という2つの地域連携パスを作成し、ようやく2014年10月から運用を始めました。この半年間で、膀胱がんは10例、前立腺がんは1例パスを導入しています。今後も、地域連携パスを積極的に利用し、地域との医療連携を進めてまいりたいと考えております。

今後ともご支援よろしくお願いたします。



泌尿器科主任部長 高尾徹也

今月の風景



(眼科主任部長 内堀恭孝撮影 「奥入瀬溪流」)

編集後記

今月から「喫茶室」の担当が代わりました。これまでの「喫茶室」とは違ったとりとめのない話ばかりになるかと思いますが、少しでも皆様に「やすらぎ」を感じていただければ幸いです。

表紙もこれまでの「歌」から「写真」に変えました。当センター周辺や市内、府内の季節を感じる写真を掲載していきたいと思っています。また、この時期に行ってみたくていただけた各地の写真も掲載することにしました。次回6月号の表紙と「今月の風景」を飾るのに相応しい写真をお持ちの方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・ 投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・ タイトル、撮影日時、場所についてコメントをメール本文に記載ください。
- ・ 作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。